

## 情報公開文書（第2版）

研究の名称	消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築（多施設共同研究）
整理番号	臨 30-144
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	光学医療診療部 藤浪 斗
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2019年3月より2022年12月までに富山大学附属病院において内視鏡検査・治療を受けた方を対象とします。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 日本消化器内視鏡学会内に設けられたJapan Endoscopy Database(JED) Project 委員会が主導となり企画された多施設共同研究です。日本全国の消化器内視鏡検査および治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すプロジェクトです。日本消化器内視鏡学会では、この研究で集められたデータを分析することで以下のことを明らかにすることを目的にしています。</p> <p style="padding-left: 2em;">内視鏡関連手技を行っている施設診療科の特徴</p> <p style="padding-left: 2em;">医療水準の評価</p> <p style="padding-left: 2em;">適正な消化器内視鏡専門医の配置、ならびに消化器内視鏡技師、看護師などのコメディカルの適正な配置</p> <p style="padding-left: 2em;">早期癌登録に対する精確な情報収集</p> <p style="padding-left: 2em;">内視鏡検査、治療を受けた方の予後</p> <p style="padding-left: 2em;">内視鏡検査・治療の医療経済的な情報収集</p> <p style="padding-left: 2em;">これから内視鏡関連手技を受ける方の死亡・合併症の危険性、など</p> <p><b>【研究の方法】</b> 当院の内視鏡システムから別途定める項目を抽出し、匿名化された状態で日本消化器内視鏡学会本部に設置したサーバ内に格納しデータベースを構築し、各種分析を行います。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2019年2月21日 ~ 2026年12月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。 研究にあたっては、個人を同定できないように個人情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>利用し、又は提供する情報の項目は以下の通りです。</p> <p>検査日、年齢、性別、ASA Grade、抗血栓薬（使用状況ならびに中止、置換の有無などの詳細）喫煙歴ならびに喫煙の有無、飲酒歴および飲酒状況、悪性腫瘍、家族歴、他臓器癌既往歴、ヘリコバクター・ピロリ感染状態、内視鏡検査の予定性、外来・入院、検査目的、治療目的、鎮痙剤使用状況、鎮静・鎮痛・麻酔に関する事項、内視鏡の挿入経路、使用スコープ情報、送気の種類、特殊観察法、観察範囲、手技開始・終了時間、手技中、手技後偶発症、30日以内の死亡の有無、実施医師名（医籍番号）、副実施医師名（医籍番号）、内視鏡看護師・技師名、腹部手術歴、生涯大腸内視鏡歴、造影範囲、挿</p>

	管、胆管・膵管径、挿管難易度、胆管へのアプローチ方法、など
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	日本消化器内視鏡学会 Japan Endoscopy Database (JED) Project 委員会 委員長 田中 聖人
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail haruka52@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗